

第156回理事会議事録

日 時 令和5年10月18日(水) 13:30～16:10
場 所 当法人会議室(議長:倉重 一男 会長、司会進行:藤 甲子郎 副会長)
理 事 数 15人(出席理事数11人)
監 事 数 2人(出席監事数 1人)
出 席 者 倉重 一男、渡辺 敏也、藤 甲子郎、野形 修一、吉次 正利、森重 利之、川原 淳
立川 雄一、待鳥 俊郎、西村 象吾、金子 誠 各理事
永石 昇将 監事 事務局) 富崎 正樹、杉村 亮

I. 審議事項

1. 青年部入部の件(野形)
 - ・藤川博斗 氏(32歳)…株式会社ツインズ、代表取締役 承認。
2. 第14回実態調査実施について(西村)

先月の理事会で協議いただき、その後、ご意見や要望等など出ていないので、この内容で実施することに決定し、今月末の定期便で正会員へ送付することに致したい。また、今回から調査票とWEBでの回答を併用できるようにした。なお、回答期限は11月30日(木)迄とする。 承認。
3. 会員支援用リーフレット作成について(野形)

先月の理事会で協議いただき、その時にいただいたご意見をもとに作成し直した。この内容で問題等ないかご確認いただいた結果、リーフレットに記載している文言の中で、「賃金上昇」を「賃金問題」へ変更することにした。また、写真のデザインを2種類作成し出席者に選んでいただいたが、握手のデザインを選択された方が多かったので、そのデザインに決定した。なお、2千部作成し会員企業に1社あたり12部を今月末の定期便で送付する。 承認。

II. 報告事項

1. 経営雇用対策部会報告(森重)

開催日時 令和5年9月22日(金) 11:05～11:30
開催場所 県協会会議室
参加人数 9名
議 題 1. 令和5年度経営雇用対策セミナーについて
2. その他
都市ビル環境の日のシンポジウムについて
2. 第2四半期会計監査報告(永石)

10月10日(水)に令和5年7月から9月までの会計監査を実施した結果、適正に処理されており問題および指摘等はなかった。

3. 第29回都市ビル環境の日実施報告（吉次）

開催日時 令和5年10月4日（水）

内 容 (1) クリーンアップ福岡…431名参加〔内、外部企業4社33名〕
(2) シンポジウム…114名
(3) 子ども絵画コンクール…応募作品：49校520点

4. 令和5年度労働安全衛生大会報告（立川）

開催日時 令和5年10月11日（水）13：30～16：00

開催場所 福岡県自治会館 大会議室

参加人数 110名、71社（内、正会員66社、賛助会員2社、他団体3社）

5. 今後の会議スケジュールについて（倉重）

先月の理事会以降に入った会議や行事は別紙資料に掲載されている黄色の箇所である。
1月の理事会は24日（水）から23日（火）に変更する。政連賀詞交換会も26日（金）から30日（火）に変更されとの事。また、追加として4月の理事会を25日（木）に予定。全国協会の会議スケジュールでは、12月7日（木）の地区本部会議を鹿児島で開催、4月23日（火）に全協の理事会ならびに地区本部長会議が東京で開催される。

【追加報告事項】

6. 最低賃金の改定に伴うビルメンテナンス業務の契約金額の変更に関するアンケートについて（富崎）

9月に各地区協会の事務局長を対象に、全国協会の事業説明会がZOOM会議で行われた。その内容は、昨年実施されたビルメンテナンス業務の公共調達における価格交渉の結果についての説明と各地区協会へのお願い事項（3項目）についての説明があった。その中で、各地区の会員を対象としたアンケートの協力依頼があった。

Ⅲ. 協議事項

1. 福岡県ビルメンテナンス政治連盟の事務局移転他について（倉重）

- 政治連盟の濱村幹事長から政治連盟の事務局移転について、前回報告（8月の理事会時）以降の経過報告をされた。これまで事務局があった㈱ウィングの社員に政連の事務処理をさせていただいていたが、その方が退職することになったので、他の社員に事務処理を引き継いでもらえないか打診したが、人手不足の状況で事務処理を請け負うことはできないと断られた。その後、事務員の問題は解決したが、事務局の移転先が見つからない為、政連の理事長の会社内に置くことにした。郵便物は幹事長の会社へ転送するように手続きすることにした。㈱ウィングで事務を引き継いでもらえないのは、選挙時期になると秘書の方を初め、人の出入りが頻繁になることもネックになっている。
- 来年1月30日（火）に北九州市の小倉で政連総会並びに賀詞交歓会を開催予定。
- 高所作業安全教育講習会の背景について説明があった。

2. 全協・九州地区本部・QECについて（川原）

昨日（17日）15時からQEC、全協との打ち合わせ会議が行なわれた。出席者はQECの藤会長・森田副会長・尾池副会長・川原理事・林事務局長、全協は中野副会長・大竹総務委員長・野元地区本部長・杉山事務局長、また、建築物管理訓練センターの堀口常務とオブザーバーとして倉重副地区本部長・富永副地区本部長が出席した。

- ・全協が来福した理由は、QECが全協から九州地区の事務委託を請け負っているが、11月11日に林事務局長が退職するので、これを機に今の契約形態を見直したいと提案があった。全協の意向としては、ガバナンスの強化や指揮・指令ができる形にしたいので、職員を直庸にしたいので、QECはどうですかと言う話であった。
- ・QECの藤会長は、この話を一旦持ち帰り九州内の各県協会で話し合っていていただき、また、改めて今後どのような形でやっていくかを考えたい。QECの事務受託費収入は全協10百35万円、訓練センター86万円、教育センター230万円を予算計上しており、教育センターの事務受託は来年3月迄の契約であるが、集合教育の受講者が少なくなってきたので、オンラインに移行し契約が終了する予定。今後、QECをどのような形で存続させるかも考えなければならない。
- ・全協から、一旦リセットするが、QECが業務委託をする団体として相応しければ、再度、検討するので、その時は協力していただきたいと言われた。

3. 委員会・部会事業の洗い出しについて（倉重）

今後、委員会および部会の事業において、必要なものや必要でないものなど洗い出しをしていただきたい。委員会編成を見直したいと思っているので、それぞれの委員会・部会において事業の中身を検討していただきたい。

次回理事会は、11月24日（金）13時30分から当法人会議室にて開催予定。

以上で第156回理事会を終了したので、上記の議事の内容を明確にするため、本議事録を作成し、会長及び監事は以下に記名捺印をする。

令和5年10月18日

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

会 長 倉 重 一 男

監 事 永 石 昇 将